

転倒等による怪我の防止

【雪・凍結が関連した事故による救急統計について】

これから寒さが本格化することで、積雪や路面の凍結に起因する転倒事故等が増加すると予想されます。

過去5年間（2016年から2020年まで）に雪・凍結が関連した事故によって230人が救急搬送されています。このような事故防止を図るため、以下のとおり詳細をまとめましたのでお知らせします。

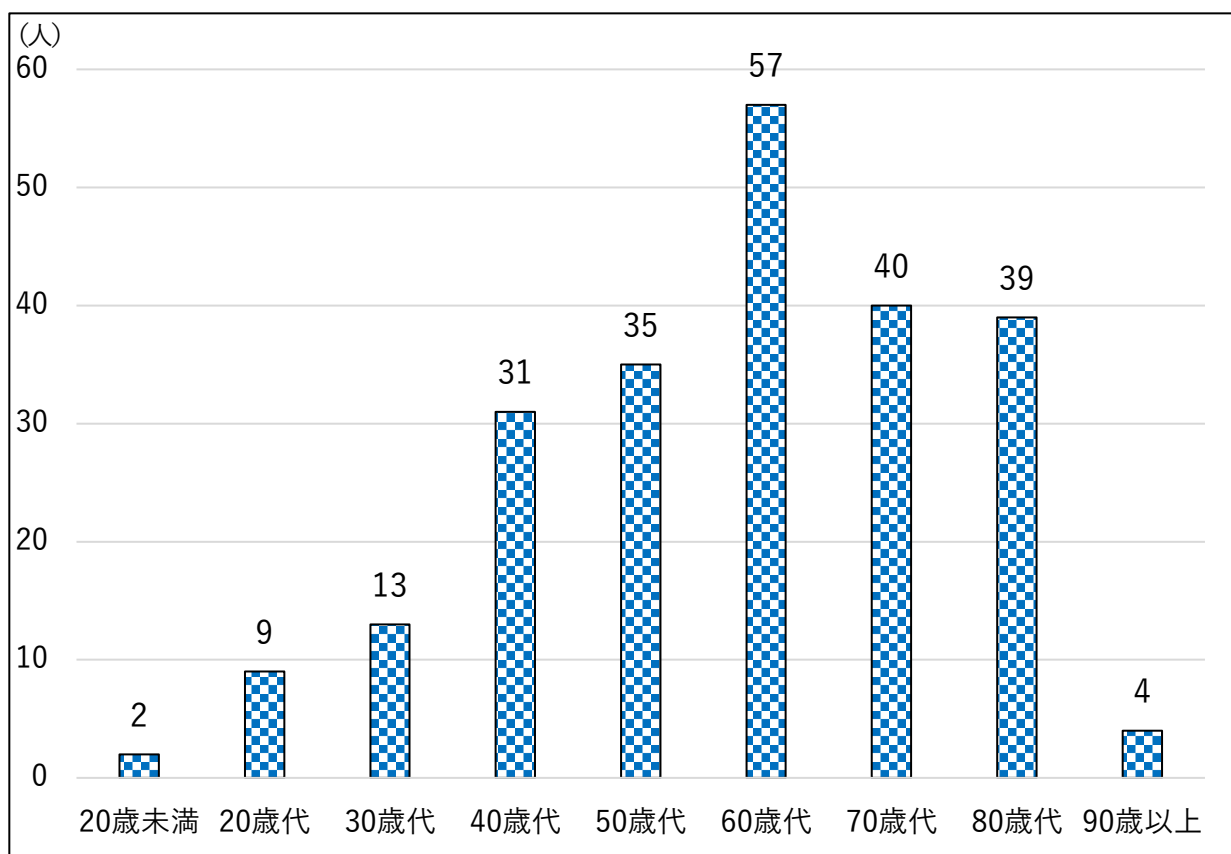
※ 数値は郡山地方広域消防組合管内における過去5年間（2016年から2020年まで）の数値

※ 小数点を含むものは小数第二位を四捨五入した数値

1 年代別の救急搬送人員

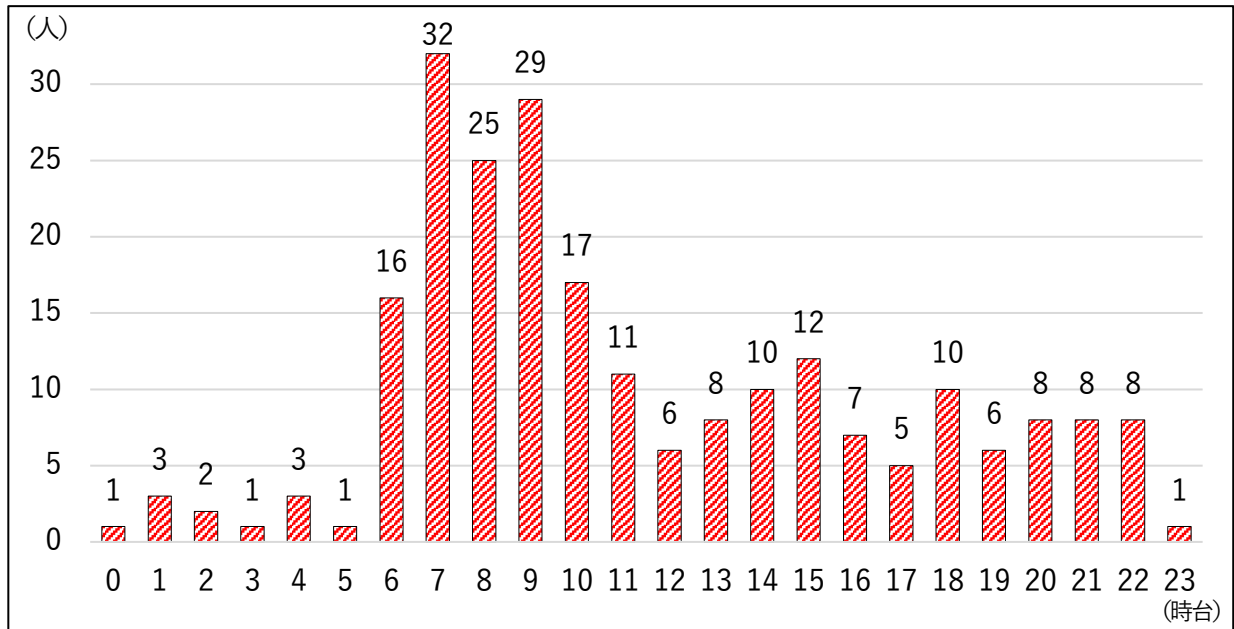
救急搬送人員を年代別にみると、「60歳代」が57人（24.8%）で最も多く、次いで「70歳代」が40人（17.4%）、「80歳代」が39人（17.0%）と続きます。

「60歳代」以上で全体の6割以上を占めていることがわかります。



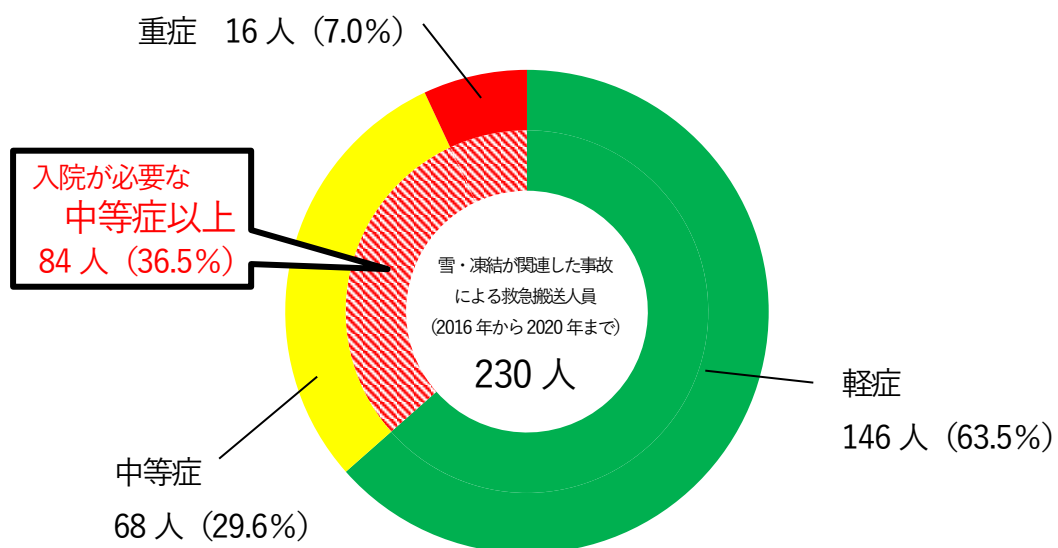
2 時間帯別の救急搬送人員

救急搬送人員を救急要請の時間帯にみると、「7時台」が32人（13.9%）で最も多く、次いで「9時台」が29人（12.6%）、「8時台」が25人（10.9%）と続きます。



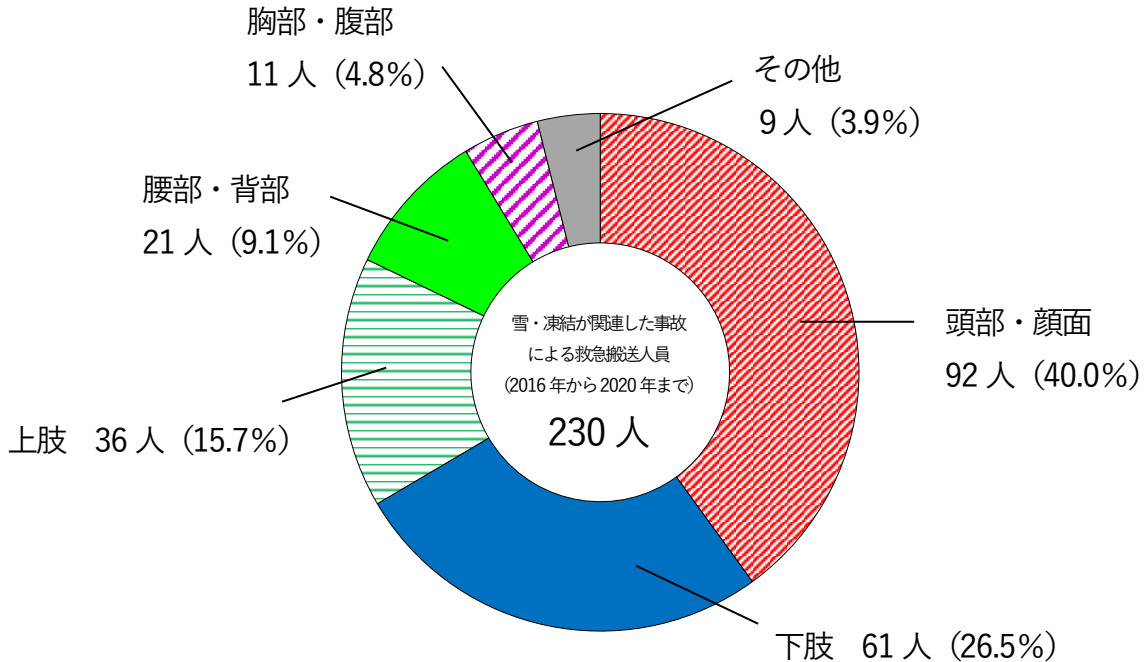
3 傷病程度別の救急搬送人員

救急搬送人員を傷病程度別にみると、「軽症」が146人（63.5%）で最も多く、次いで「中等症」が68人（29.6%）、「重症」が16人（7.0%）と続きます。



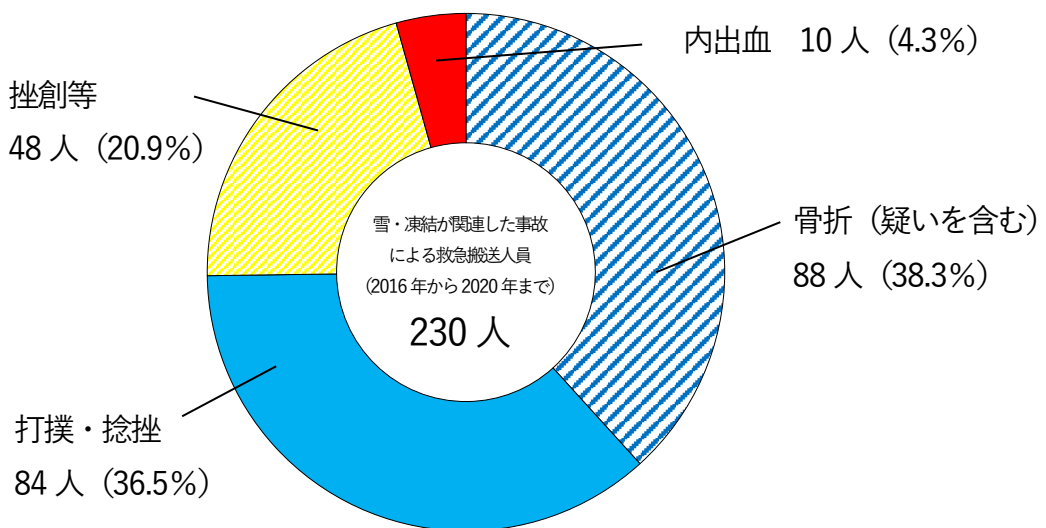
4 受傷部位別の救急搬送人員

救急搬送人員を受傷部位別にみると、「頭部・顔面」が92人（40.0％）で最も多く、次いで「下肢」が61人（26.5％）、「上肢」が36人（15.7％）と続きます。



5 症状別の救急搬送人員

救急搬送人員を受傷部位別にみると、「骨折（疑いを含む）」が88人（38.3％）で最も多く、次いで「打撲・捻挫」が84人（36.5％）、「挫創等」が48人（20.9％）、「内出血」が10人（4.3％）と続きます。



6 予防法

- ◇ 天気予報などで事前に情報収集し、時間に余裕を持って行動しましょう。
- ◇ 靴は滑りにくいものを選びましょう。
- ◇ 慌てることなく、足元に気を配りゆっくり歩きましょう。
- ◇ 日陰となっている（なっていた）場所や橋の上は滑りやすいので、特に注意しましょう。
- ◇ 傾斜がある場所や坂道は、特に注意しましょう。
- ◇ 飲酒後は転倒しやすいので注意しましょう。